

## 会 議 録

会議名称	第5期幸区区民会議 第6回専門部会（自転車事故ゼロ部会）
日 時	平成27年4月27日（月）18：30～19：30
会 場	幸区役所 4階講堂
出席者	<ul style="list-style-type: none"> <li>●区民会議委員（50音順） 阿部法弘委員（部会長）、飯島忠男委員、大澤義和委員、押山兼二委員、近藤多恵委員（副部会長）、佐々木繁委員、西野恭一委員、原紀代子委員</li> <li>●事務局 幸区役所まちづくり推進部企画課 今村課長、吉岡係長、佐藤係長、早川職員 幸区危機管理担当 宮舘課長 (株)計画技術研究所 西原</li> </ul>
欠席者	なし
傍聴者	なし
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>●議事次第</li> <li>●資料1 「区内道路の危険箇所調査（南河原地区）」のまとめ</li> <li>●資料2 「少人数制高齢者交通安全教室」の実施に係る関係団体との調整状況</li> <li>●資料3 「第5期幸区区民会議」スケジュール（案）</li> <li>●資料4 「自転車事故ゼロ部会」調査審議スケジュール（案）</li> </ul>
議 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「区内道路の危険箇所調査（南河原地区）」実施結果の確認</li> <li>・「少人数制高齢者交通安全教室」の実施に係る関係団体との調整状況の確認</li> <li>・今後のスケジュールについて</li> </ul>
決定事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 まち歩き調査方法の確認 <ul style="list-style-type: none"> <li>・現地調査（南河原地区）の結果の情報共有を行い、引きつづき第2回（御幸地区）の調査を行うこととした。</li> </ul> </li> <li>2 「少人数制高齢者交通安全教室」の実施にあたって連携する地域団体の確認 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の団体への声かけを適宜行い、連携していくことで合意した。</li> </ul> </li> </ol>
会議の内容 及び 主な発言	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 「区内道路の危険箇所調査（南河原地区）」実施結果の確認 <ul style="list-style-type: none"> <li>●資料1をもとに、調査に参加した委員から、調査内容の報告を行った。</li> <li>《調査地点全般について》</li> <li>・調査地点での事故の多くは、注意不足によるものがほとんどではないか。</li> <li>・自動車の運転手に、自転車は軽車両であるという認識がない場合がある。軽車両だからと車道を横断しようとする、自動車にクラクションを鳴らされることが</li> </ul> </li> </ol>

ある。

- ・歩道上の信号は歩行者用なのか、自転車も守るべきものなのか、非常に分かりにくい。横断歩道の横に自転車のラインが引かれていない場合は、自転車が横断歩道を渡ることを想定していないものと思われるが、分かりにくい。

#### 《①さいわい緑道付近》

- ・緑道の横の道に、自転車から確認できるミラーがあるとよいのではないか。
- ・自転車や歩行者等は、車通りの多い道を通りたくないで、緑道の横の細い道を利用しているのではないか。

#### 《②南河原交差点》

- ・細い道から幹線道路へ自動車が出てきたことによる事故については、停止線より前に自動車が出てきてしまうことも一因としてあるのではないか。
- ・自転車が歩道ではなく車道を走っていれば、事故にはならなかったケースもあるのではないか。
- ・矢羽根標示があると車道を走る自転車が増えるようである。車道への誘導として有効ではないか。ただし、道路幅員がせまい場合は、車道を走るのに抵抗がある。
- ・調査箇所は、休日にラゾーナへの駐車待ち車両で渋滞がおきる。

#### 《③南幸町交差点》

- ・栄通りはバス通りでありながら、歩道がせまく両側通行になっている。自転車で走るとバスに追いかけられるような状態になってしまう。
- ・緊急整備では矢羽根標示をすることだが、幅員がせまいので、矢羽根標示とあわせて歩道をセミフラット化してはどうか。

#### 《④シンフォニーホール前交差点》

- ・歩車分離信号に対して、多くの自転車は歩行者用の信号に従って渡っているが、本来であれば自動車用の信号に従うべきなのだろう。しかし、実際に自動車用の信号に従った場合、自動車からクラクションを鳴らされてしまうのではないか。
- ・ラゾーナの西側に位置する交差点は、一方通行であるため、逆走方向へは一時停止の標識がないが、実際には車だけでなく付近のマンションから出てくる自転車も多いので標識が必要ではないか。

#### 《⑤南幸町2丁目交差点付近》

- ・柳町公園の交差点は見通しがよい。お互いに“向こうが止まってくれるだろう”という意識で事故になったのではないか。

- ・ここはもともと事故が多い箇所である。逆走の自転車も多い。以前から横断歩道と信号の設置を警察に要望しているが、近在の横断歩道との間隔が狭いので不可と言われた。
- ・南幸町2丁目交差点は、斜めの道路があるが、右折信号で進むべきなのかわかりにくい。歩行者、自転車の動線も錯綜している。都内の環状8号線では、斜め方向の矢印が出る信号がある。

#### 《⑥尻手交差点》

- ・尻手交差点は横断歩道がないが、自転車はかなり渡っている。逆走も多い。
- ・川崎区の元木交差点は、もともとは歩道橋のみで自転車横断帯はなかったが、2年ほど前に自転車専用の横断帯ができた。しかし国道1号線では、都町交差点も遠藤町交差点も自転車が渡れるようになっていない。主要国道には、自転車横断帯を設ける必要があるのではないか。

#### 《今後の調査方法について》

- ・事故発生地点毎に通し番号を振って欲しい。

#### 《その他》

- ・道路公園センターの職員が解説をしてくれたため、わかりやすかった。
- ・次回調査対象地の御幸地区について、危険箇所等の情報があれば事務局まで知らせしてほしい。

## 2 「少人数制高齢者交通安全教室」の実施について

- 資料2について事務局が説明した。

#### 【地元の関連団体等の状況について】

- ・日吉地区にある老人クラブの会長に「少人数制高齢者交通安全教室」について情報提供したところ、日吉地区の老人会で呼びかければ20人くらい集まるだろうとのことだった。なお、5月22日13時から日吉いこいの家にて、日吉地区の老人クラブの会長会議があるため、その場で実施内容について説明してはどうかという打診があった。

→当該老人クラブへの説明は、実施内容が固まった後に実施することとする。

- ・先日、町内会の総会で、自転車の交通安全ビデオを見た。みな年配者だが、概ね興味を持って見ていた。このような機会を活用して実施していくと良いのではないか。
- ・河原町団地の8割近くが高齢者である。規模が大きいので、イベントを企画して団地の自治会に声をかければ、集まってくれるのではないか。

- ・各地域団体へ声かけを行い、実現性のある所から実施していきたい。

### 3 今後のスケジュール

- 資料3, 4について事務局が説明した。

⇒5月25日(月)に御幸地区の現地調査、6月1日(月)に第7回自転車事故ゼロ部会を実施する。

以上